

TOSHIBA 東芝電球ブラケット取扱説明書 保管用

防雨形

- このたびは東芝製品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- 正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事に依頼してください。
一般の方の工事は法律で禁じられております。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

人感センサー付照明器具

- センサーが人の動きをキャッチして自動的に点灯する機能を持っています。
- 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
- 暗くなってからの点灯方法が選べます。
 1. 消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
 2. 調光点灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
 3. 調光点灯で6時間待機。6時間後は消灯で待機。人が近づくと点灯します。

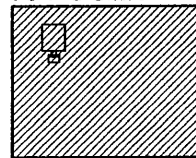
事前にご確認ください

(2ページの「■器具を取り付ける前に」をご確認ください)

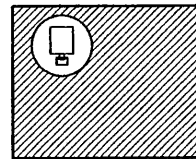
- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- 1つの壁スイッチには1台でご使用ください。
(1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- 表示灯付スイッチと組み合わせる場合は弊社製品をご使用ください。(弊社商品名：オフピカスイッチ)
他社製表示灯スイッチと組み合わせるとセンサーが誤動作する場合があります。

暗くなってからの点灯状態が選べます。

暗くなくても消灯



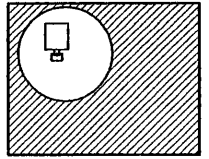
暗くなったら調光



人が近づくと



全光点灯



■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●器具の取り付けは、取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると、落下・感電・火災等の原因となります。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●必ずアースを取り付けてください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。(アースは法によりD種接地工事が必要です。) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●ランプに直接水をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。ランプの破損によるけがや感電・火災の原因となります。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●この器具は、天井の丈夫なところに取り付けてください。薄い天井・弱い天井等に取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●照明器具及びセンサー部分を分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電・落下の原因となります。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。火災等の原因となります。 | |

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●交流100V以外の電圧で使用しないでください。過電圧を加えるとランプ・器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●塩害地や湿気の多い場所では使用しないでください。部品の腐食や結露の原因となります。 ●振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。 ●風の強い場所には取り付けしないでください。落下の原因となります。 ●調光器(当社商品名コントロールクスなど)による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと器具やランプが短寿命となります。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●器具取付面に凹凸(タイル貼りなど)がある場合には、必ず木台を使用するか取付面を平面にし電源穴を内側よりコーキングして器具を取り付けてください。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●この器具は5～35℃の温度範囲で使用するよう設計してあります。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●ランプ交換の際は、必ず器具に表示されているランプの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類、ワット(W)数のランプをご使用の場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因となります。 | | | |

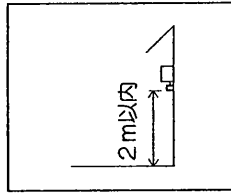
■器具を取り付ける前に

■器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

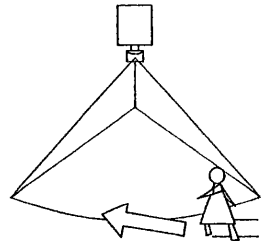
■1つの壁スイッチには1台でご使用ください。(1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)

検知エリアを考慮して設置してください。

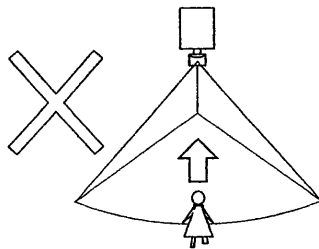
●高さ2m以内に設置してください。



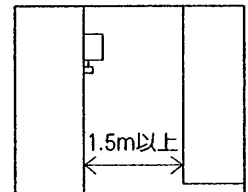
●センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



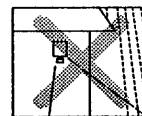
●センサー正面に向かって人が近づく様な位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁等から1.5m以上離して取り付けるかもしくはユニットの方向を調整してください。

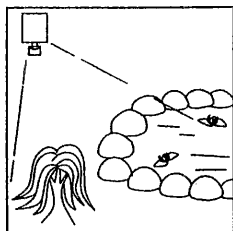


■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

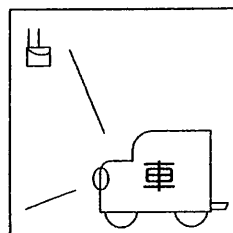


■次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因となります。)

検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。

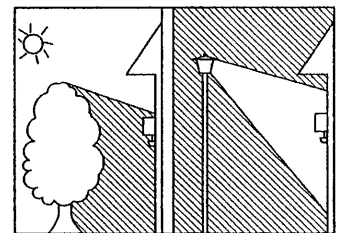


車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。

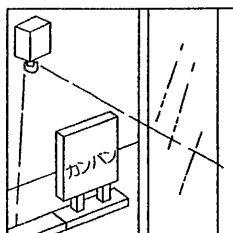


昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。

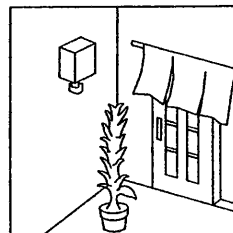
●取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。壁スイッチを設置してください。



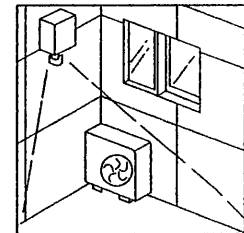
前面に障害物のある場所。(透明なガラスでも遮断されます。)



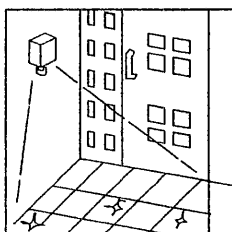
風などでよくゆれるのれんや、植物などがある場所。



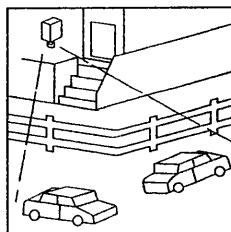
エアコンの吹き出し口の近く。吹き出し口に対向する場所。



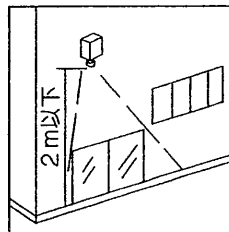
大理石など反射の強い床面のある場所。



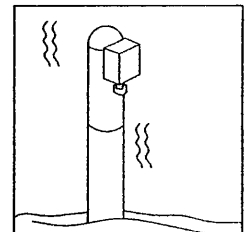
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



取付高さが2m以上になる場所。

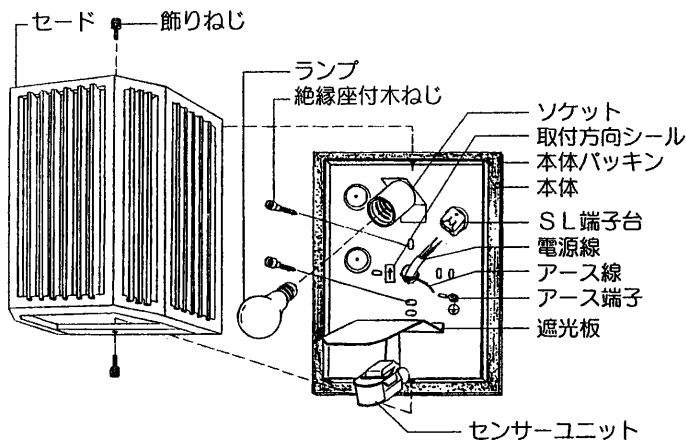


振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■器具の取り付けかた

防雨形



天井、壁面からの取付距離
200mm以上離す

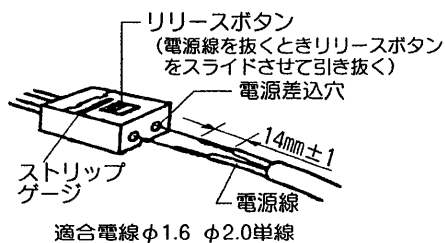
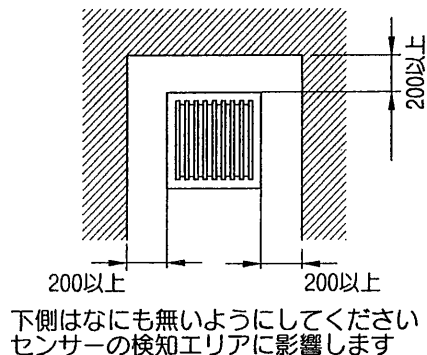


図-1 SL端子台

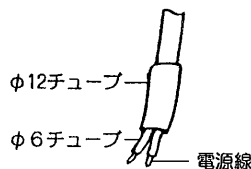
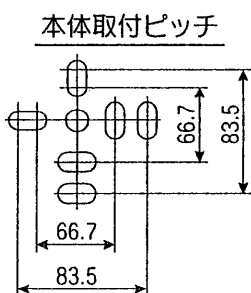


図-2 保護チューブの取付方



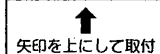
1. 器具を取り付ける前に、飾りねじ（2本）をはずし、本体からセード（木枠付）をはずしてください。
2. 本体を取り付けてください。
本体の中央電源穴に電源線とアース線を通してから、本体内部の取付方向に従って付属の絶縁座付木ねじ（2本）で本体を取付面にしっかりと取り付けてください。

△ 警告

器具の取り付けには方向性があります。
本体表示に従い行ってください。
指定方向以外の取り付けを行うと、落下・感電・火災の原因となります。

△ 警告

落下してけが・感電・火災のおそれあり
指定の方向以外の取付禁止



△ 注意

取り付けの際は取付面の凹凸を調べて平滑な所に取り付けてください。また、電源穴を内側よりコーキングしてください。造営物によっては、ボリ台・木台を使用してください。取り付けが不十分ですと、湿気・水気の侵入による絶縁不良・感電の原因となります。

3. 電源線を結線してください。
電源線に備え付けの保護チューブをかぶせてから（図-2）、SL端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源差込穴に奥まで差し込んでください。（図-1）

△ 警告

感電・焼損・火災の原因となります。

- 電源線がランプにあたらない様、壁側へ押し込んでください。

△ 警告

感電・発熱・焼損・火災の原因となります。

- 電源線皮むき寸法は14mm±1mmで、垂直にカットしてください。
- 結線は電源線を確実に奥まで差し込んでください。
- 電源線はまっすぐなφ1.6mm、2.0mm銅単線を使用してください。
- 曲がった電源及び、より線は使用しないでください。
- 電源線結線及び器具施工の際は電源線をねじったり回したりしないでください。
- 必ず保護チューブを取り付けて施工してください。

4. アース線をアース端子に接続してください。
5. ランプをソケットに取り付けてください。
6. セード（木枠付）を飾りねじ（2本）で本体にしっかりと締め込んでください。
7. 必要に応じて検知エリアを調整してください。

——テストモード 4ページ

△ 警告

器具の取り付けは確実に行ってください。
取り付けが不十分ですと、落下・感電・火災等の原因となります。

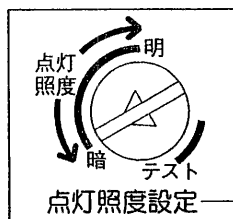
△ 注意

マルチセンサー付器具には電球形蛍光灯を使用することはできません。
器具・ランプの故障の原因となります。

■ センサーの名称

センサーユニット底面の動作設定スイッチを調整することにより3つのモードに切り替えることができます。

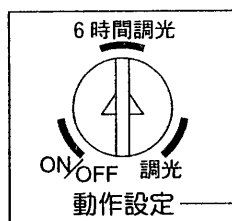
点灯照度スイッチ



設定スイッチは
センサー底面に
あります



動作スイッチ



設定スイッチは
センサー底面に
あります

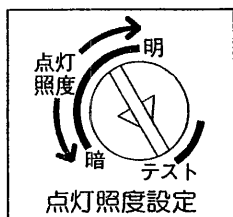


●出荷時は「暗」に設定してあります。

●出荷時は「6時間調光」に設定してあります。

設置後検知エリアを決める。 テストモード

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「テスト」に合わせます。

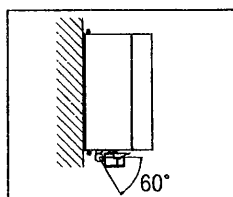


■周囲が明るい時でも、人を検知するたび、約5秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。

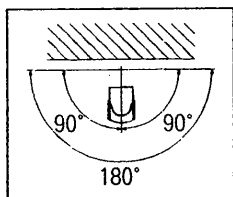
2. 壁スイッチを「オン」にします。

※どのモードでも「オン」直後はランプが点灯⇄消灯になりますが
故障ではありません。約1分後に設定モードで動作します。

3. センサーの検知部を動かして位置を決めてください。



水平から下方向60°可動



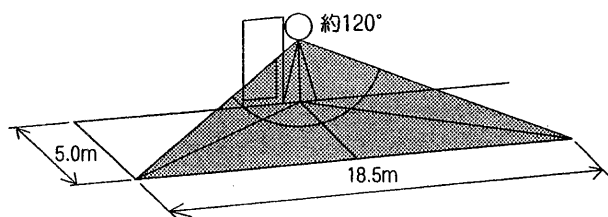
左右約90°可動

検知部は水平から下方向60°、左右約90°回転します。
※調整範囲以上無理に動かさないでください。

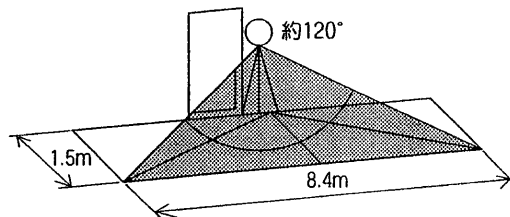
センサーの検知範囲

●壁面取付の場合

センサー方向正面下20°に
動かした場合



センサー方向下50°に
動かした場合



(ご注意) 検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)

4. 点灯させる周囲の明るさを選択します。

「暗」 約10ルクスから点灯します。

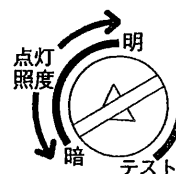
「明」 約100ルクスから点灯します。

点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。

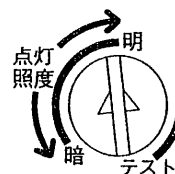
設定方法に進んでください。

ページ6へ

— 設定例 —



●点灯照度約10ルクス



●点灯照度約100ルクス

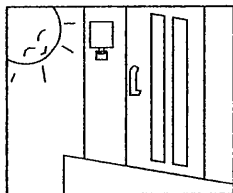
■ センサー機能について

センサーユニット側面の動作設定スイッチを調整することにより3つのモードに切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。(設定方法は「6ページ」)

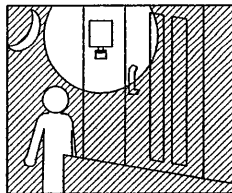
ON-OFFモード

人が近づいた時だけ明るくしたい

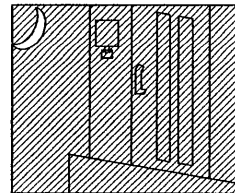
日中は消灯



暗くなると人が近づくと
100%の明るさで点灯



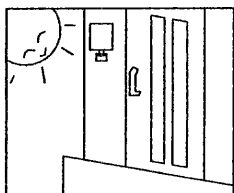
人がいなくなると
約60秒で消灯



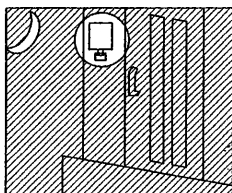
調光モード

一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時は明るくしたい

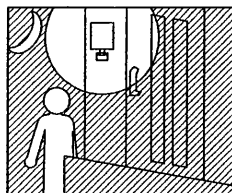
日中は消灯



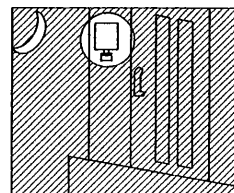
暗くなると
20%の明るさで点灯



人が近づくと
100%の明るさで点灯



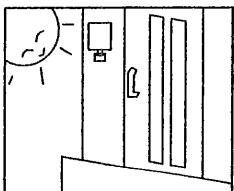
人がいなくなると
約60秒で20%の
明るさで点灯



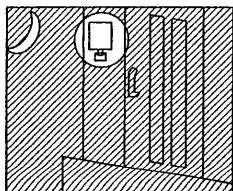
6時間調光モード

一晩中ほんのり点灯はもったいない

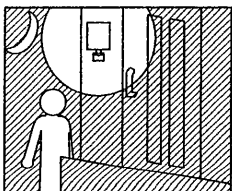
日中は消灯



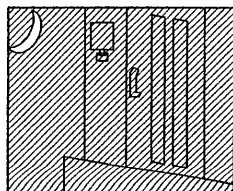
暗くなると
20%の明るさで点灯



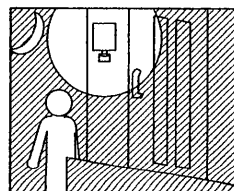
人が近づくと
100%の明るさで点灯



6時間後は消灯し
ON-OFFモードに



人が近づくと
100%の明るさで点灯



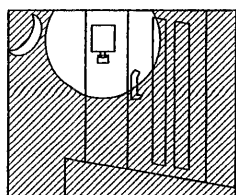
※周囲が暗くなるとセンサーが動作すると、6時間は周囲の明るさに関係なくセンサーが動作します。(明るくなくても消灯しません)
解除したい場合は、電源を切るか、センサーのモードを変更してください。

連続点灯

人がいなくてもずっと点灯してほしい

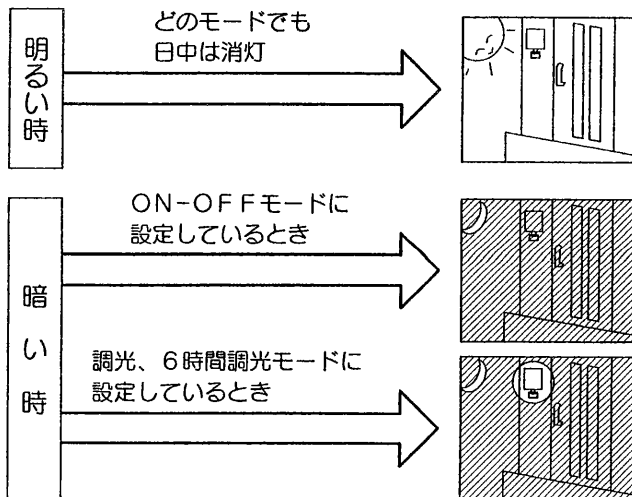
壁スイッチを操作して点灯させておくことができます。

100%点灯



約8時間たつと元の
センサー設定モード
にもどる

※連続点灯できる
時間は約8時間
です。

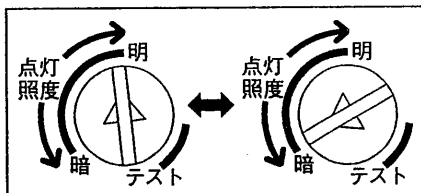


■設定方法

センサーユニット側面の動作設定スイッチを調整することにより3つのモードに切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。

ON-OFFモード

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



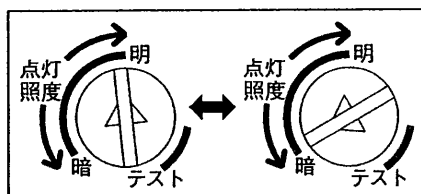
2. センサー「動作設定」のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。



※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇄消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定モードで動作します。

調光モード

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



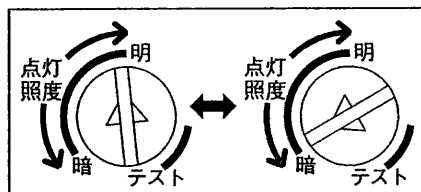
2. センサー「動作設定」のスイッチを「調光」に設定してください。



※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇄消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定モードで動作します。

6時間調光モード

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



2. センサー「動作設定」のスイッチを「6時間調光」に設定してください。



※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇄消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定モードで動作します。

連続点灯

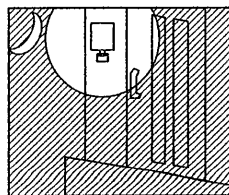
壁スイッチを操作すると周囲の明るさ、人の検知に関係なく点灯させておくことができます。
※連続点灯できる時間は約8時間です。

1. 壁スイッチを一度OFFさせて

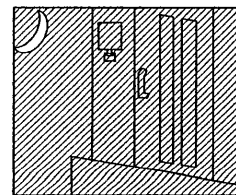
2. すばやくONにする



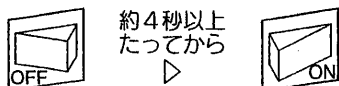
100%点灯



約8時間たつと消灯し
元の設定モードにもどる



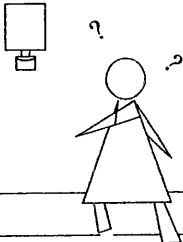
連続点灯を解除する時又は、連続点灯中にセンサー待機状態に切り替える場合は、OFFにして4秒以上たってからONにする。

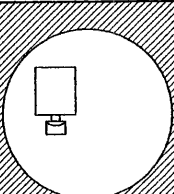
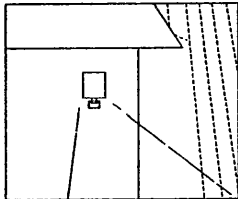
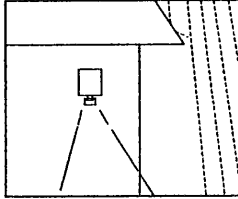


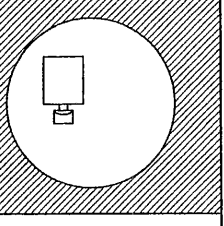
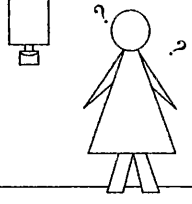
※「オン」直後はランプが点灯⇄消灯になりますが故障ではありません。約1分後に設定モードで動作します。

■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現 象		考 え ら れ る 原 因	処 置 方 法
人が近づいても 点灯しない。 	夜	ランプが切れている。 	壁スイッチ（電源）を切ってから 新しいランプに交換してください。 
		壁スイッチ（電源）が オフになっている。 	壁スイッチをオンにしてください。 
		センサーの表面が 汚れている。 	柔らかい布で 汚れをおとしてください。 
		厚手の服を着ている。 	センサーは熱に反応するため厚手の服に体温が閉じ込められ反応しない場合があります。
		センサーに周りの照明器具の 光が入っている。 	センサーの検知部に他照明の光が入らないようにしてください。
		器具に向かってまっすぐ進んでいる。	センサー正面に向かって近づくと検知しにくい場合があります。 センサーの検知部を少しずらしてください。
		電源配線（接続）が正しく行われていない。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		壁スイッチ（電源）が故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		センサーが故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に修理又は交換依頼してください。
		タイマー回路等に接続している。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
夕方	点灯照度スイッチが 「暗」になっている。 	暗くならないと点灯（動作）しない ようになっています。 	

点灯したままで 消灯しない。 	夜	連続点灯モードになっている。 「6ページ」をご参照ください。	壁スイッチを「オフ」にして 4秒以上たってから「オン」 にしてください。 
		激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合 があります。
		検知エリア内に雨が 入っている。 	検知部を回転させ調整してく ださい。 「4ページ」をご参照ください。 
		「動作設定」スイッチが調光又は 6時間調光に設定してある。 	暗くなると調光（約20%の明るさ）点灯します。 「5ページ」をご参照ください。
	昼	昼間でも周囲が暗い。 「4ページ」をご参照ください。	昼間でも周囲が暗い場合はセンサーが夜と認識して点灯 することがあります。
		「動作設定」スイッチが6時間調光に設定 してある。	センサーが動作し、6時間は周囲の明るさに関係なくセ ンサーが動作します。「5ページ」をご参照ください。
		壁スイッチに表示灯付スイッチを 使用している。	東芝以外の表示灯付スイッチでは誤動作をする場合があ ります。工事店等に依頼して東芝製の表示灯付スイッチ に交換してください。

現 象		考 え ら れ る 原 因	処 置 方 法
人がいないのに点灯している。		電源を「オン」にした。	電源を「オン」にした直後はランプが点灯→消灯します。約1分後に設定モードで動作します。
	夜	周囲が暗くなった。「動作設定」スイッチが調光又は6時間調光に設定してある。	暗くなると点灯します。 「5ページ」をご参照ください。
		検知エリア内に木や水面などがある。	人以外の熱源を検知しセンサーが動作することがあります。
		検知エリア内にペットなどの動物がいる。	検知範囲を調整するか熱源を取り除いてください。
		検知エリア内に雨が入っている。	検知エリア内に道路などがあると車などに反応します。検知範囲の調整をしてください。
		車の通りが激しい。	
検知エリアに人がいるのにランプが消えた。 	夜	検知エリア内で動かなかった。	検知エリア内においても動きがない場合にはセンサーが反応しません。動くとランプが点灯します。
		ランプが切れた。	壁スイッチ（電源）をオフしてから新しいランプに交換する。
		周りが明るくなった。	周りが明るくなると消灯します。

■お手入れのしかた

⚠ 注意 お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 器具はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
このとき、ぬれた手でソケット部分にふれないでください。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。）
- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

- 器具に直接水をかけて洗わないでください。
器具の破損・落下・感電などの原因となります。
- ランプは水洗いしないでください。
ランプ破損によるけがや故障・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 器具やセンサーをいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。
傷つけたり腐食の原因となります。

■保証とアフターサービス

■照明器具の交換時期は、使用条件・環境により異なりますが約8～10年が目安です。照明器具には寿命があります。

保証について

- ・保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。** 但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
- ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- ・保証期間中は、**お買い上げ日を持主であるもの** を添えてお買い上げの販売店（工事店）まで申し出ください。
- ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- ・ご転居されたり、贈答品などで販売店（工事店）に修理のご相談ができない場合「東芝家電修理ご相談センター」0120-1048-41（フリーダイヤル）

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- ・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- ・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ・補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。（セード・グローブなどは含まれません。）

- ・新製品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談
「東芝家電ご相談センター」 0120-1048-86（フリーダイヤル）
携帯電話・PHSからのご利用は (03)3426-1048（有料）
* フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

東芝ライテック株式会社 住宅照明事業部

〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9（イトーピア清洲橋通りビル）